

踏切道内誘導表示の取組状況について

3) 踏切道内誘導表示の取組状況について(八木西口第1号踏切)

橿原市



参考: 国土地理院地図

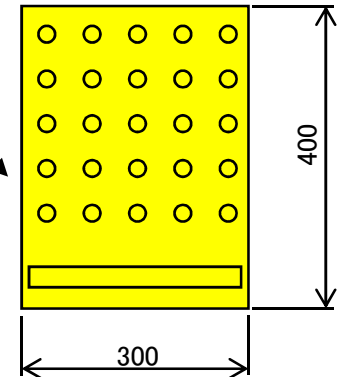
対策前



対策後

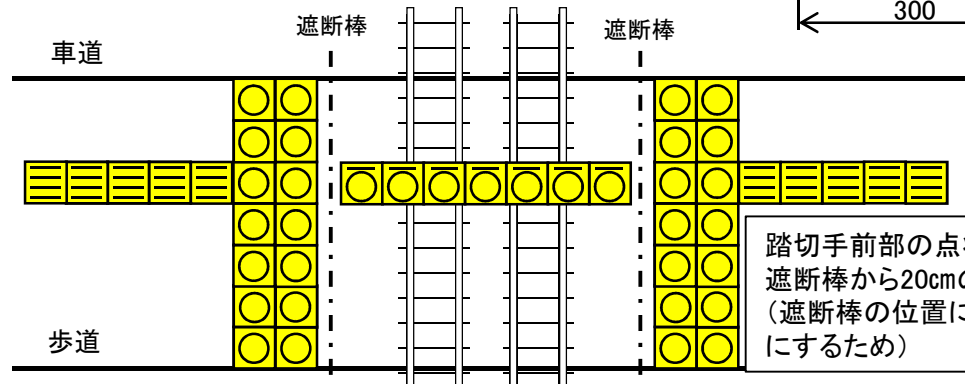


「プラットフォーム縁端警告用内方表示ブロック」と同様の構造を使用



【スケジュール】

- 令和5年3月29日 視覚障害者福祉協会・橿原市障害者団体協議会との現場立会
→具体的な構造、規模が概ね決定(近鉄との協議へ)
- 4月17日 近鉄協議(設計業務)
- 4月24日 近鉄打合(契約手続き)
- 5月 1日 業者決定・初回打合せ
- 8~9日 施工打合せ
- 10日 工程打合せ、施工協議書(郵送)
- 15日 試験施工、施工承認請書受取
- 17日 施工(踏切手前部)
- 19日 施工(線路内)



踏切手前部の点状ブロックは遮断棒から20cmの位置が良い(遮断棒の位置に立たないようにするため)

3) 踏切道内誘導表示の取組状況について(八木西口第1号踏切)

檀原市

《設置後体験会(令和5年6月6日)での意見等》

参加者	Q1.踏切道内の誘導表示と踏切道外の誘導表示は区別できましたか？	Q2.誘導表示表面の凹凸は足裏で認識できましたか？	Q3.内方線付きの誘導表示は内方線無しの誘導表示と比べ分かり易かったと思いますか？	Q4.凹凸の高さを2cmとしていますが、高さはちょうど良いですか？	Q5.踏切道内の誘導表示は前後の誘導表示と同じ黄色でしたが、気になる事はありましたか？	追加質問	Q6.お出かけの時スマートフォンは持ちですか？	Q7.その他気づかれたこと、改善してほしいことなどありますか？
A(70代) 弱視、車いす	(車いすのため) できなかった	半分以上 分からなかった	(車いすのため) わからなかった	ちょうど良い	なかった		持っている	・踏切に入ったことが認識できなかった。 ・踏切の範囲がわかれば安全。 ・踏切内で警報音が鳴るとあせる。こわい。
B(70代) 弱視(強度)	踏切道の中と外を 区別できた	よく分かった	思う	ちょうど良い	なかった		持っていない (ガラケー)	・夜は踏切の場所が分かりづらい。 ・踏切が近いと分かる表示(音等)が欲しい。 ・エスコートゾーンや点字ブロックが汚れていたら見づらい。
C(70代) その他 (身体障害者)	できなかった	よく分かった	思わない (わかりにくい)	ちょうど良い	なかった		持っている	・奈良県庁前のような、いつ変わるかわかる信号があればうれしい。 ・歩車分離の踏切が増えていけば良い。
D(70代) 弱視	できなかった	大体分かった	思わない (わかりにくい)	もう少し 高くしてほしい	なかった		持っている	
E(70代) 全盲(白杖)	踏切道の中と外を 区別できた	大体分かった	思う	もう少し 高くしてほしい	なかった		持っている	・踏切に入る前の誘導ブロックが長くて良かった。
F(60代) 全盲(白杖)	踏切道の中と外を 区別できた	よく分かった	思わない (わかりにくい)	ちょうど良い	見えなかった		持っていない	
G(40代) 弱視	踏切道の中と外を 区別できた	よく分かった	思う	ちょうど良い	あった	黄色が見やすい	持っている	
H(40代) 全盲(白杖)	踏切道の中と外を 区別できた	半分以上 分からなかった	思わない (わかりにくい)	もう少し 高くしてほしい	なかった		持っていない	・踏切道内で方向が判別でき、迷子にならないため、ありがたい。

体験会のアンケートより

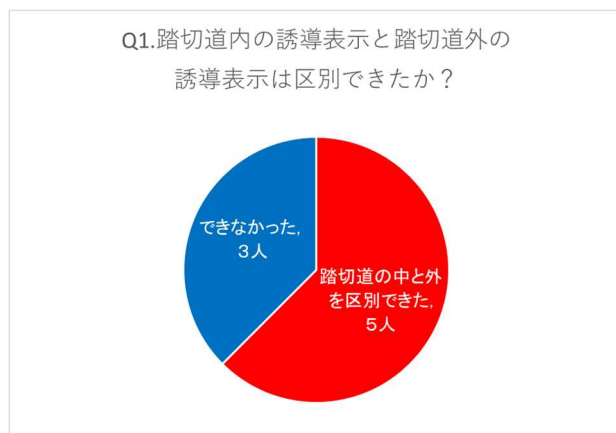


図1

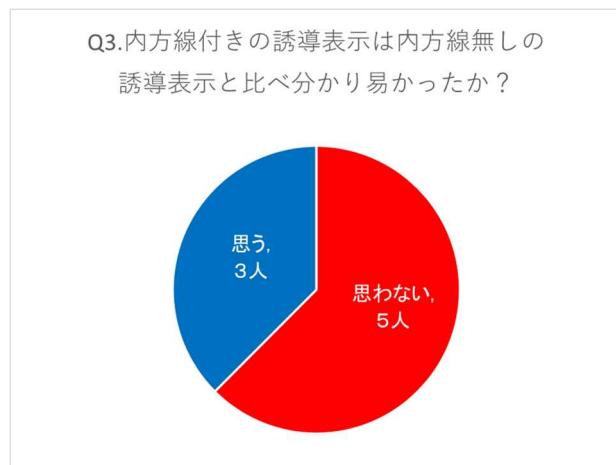


図2

アンケートでは、踏切道内の誘導表示と、踏切道外の誘導表示の区別ができた方が8人中5人であった。(図1)

誘導表示表面の凹凸は、おおむね認識されていた。

しかし、内方線付きの誘導表示は評価が分かれた。(図2)

誘導表示の色は踏切道前後の視覚障害者誘導用ブロックと同様に黄色であったが、「気になることはない」と大多数の方から回答を得た。また、弱視の方からは、黄色が見やすいとの声もいただいた。

3) 踏切道内誘導表示の取組状況について(二上第10号踏切)

奈良県



設置前



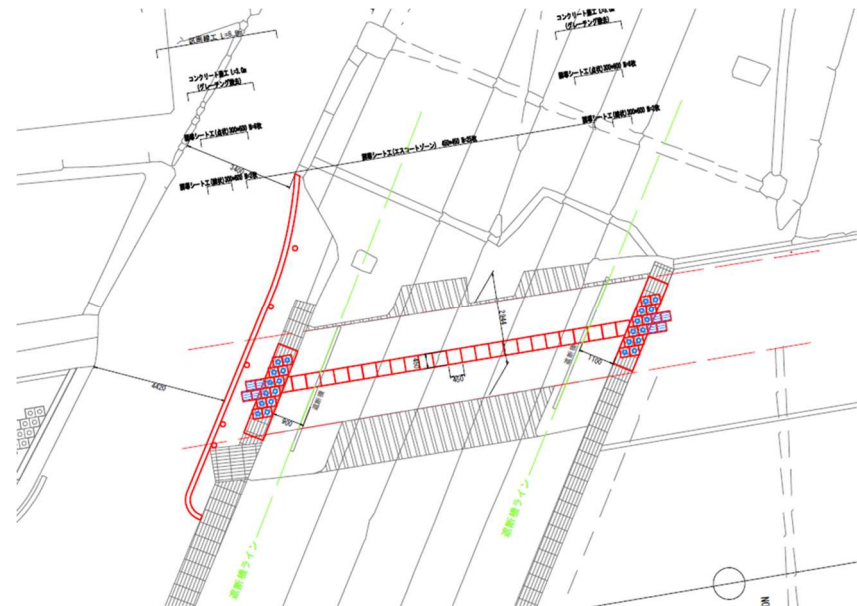
設置後



○構造は二上第9号踏切、南馬場踏切と同様のエスコートゾーン状となっている。

【スケジュール】

- 令和4年8月30日 視覚障がい者誘導用ブロック整備方針会議
- 令和5年6月29日～30日 香芝署警察会議
- 29日 香芝市協議
- 7月11日 香芝市協議完了
- 14日 近鉄協議
- 11月 8日 近鉄と着手前協議
- 28日 現地にて施工協議
- 12月18日～ 施工(踏切内は夜間工事)



設置図面

■踏切道のバリアフリー化整備に向けた経過状況

R4.4 大和郡山市内の踏切において、視覚に障害のある方がお亡くなりになる事故が発生

R4.6 当事者団体（奈良市視覚障害者協会、奈良県視覚障害者の生活を守る会）へのヒアリング

R4.7 「奈良市移動等円滑化促進協議会」（以下、「協議会」）において、当事者団体から要望のあった、奈良市内6ヶ所の踏切について協議

要望のあった踏切：菖蒲池第8号踏切（大和西大寺駅西側踏切）
新大宮第1号踏切（新大宮駅東側）
西大寺第2号踏切（尼ヶ辻駅北側）
西ノ京第1号踏切（西ノ京駅南側）
菖蒲池第2号踏切（奈良自動車学校北側）
一条通踏切（一条高校東側）

R5.1 協議会において、「奈良市踏切道バリアフリー推進ワーキンググループ」（以下、「WG」）を設置

WGメンバー：当事者団体（視覚障害者、聴覚障害者、肢体障害者）、地域住民、鉄道事業者、公安委員会、道路管理者 等

R5.8 第1回WGを開催

参加者：当事者（視覚障害者 6名）、鉄道事業者、道路管理者 等
議題：県内の事例紹介、鉄道事業者からの注意事項、当事者の踏切対策への感想・提案、対策（案）について

R5.10.2～10.6 第2回WG（踏切内点字ブロック試作品体験会）の開催

■今後のスケジュール

R5.12～ 関係者との調整

協議会において体験会の開催報告、対策内容の報告
新大宮第1号踏切の踏切内及びその周辺道路の点字ブロック設置工事
その他踏切においても順次WGを開催



新大宮第1号踏切

■踏切内点字ブロック試作品体験会の概要

1. 実施日時・場所

日時：令和5年10月2日（月）～6日（金） 9時～17時

場所：奈良市役所

2. 開催者

主催：奈良市移動等円滑化促進協議会（事務局 奈良市交通バリアフリー推進課）

協力：奈良女子大学、草竹コンクリート工業（株）、アトムクス（株）、

奈良市社会福祉協議会

3. 体験会の内容

1階 高さの違う点字ブロックを体験（5mmと2.5mm）

6階 踏切内点字ブロックの様々なパターン（①～④）を体験

- ・パターン① エスコートゾーン＋1本線ブロック（松山市等で実施）
- ・パターン② 2本線ブロック（相模原市で実施）
- ・パターン③ 内方線付点状ブロック（橿原市で実施）
- ・パターン④ 奈良市独自試作品（奈良市視覚障害者協会会長と協議により考案）

4. 参加人数（アンケート回答者数） 210人

1階 65人（視覚障害者 3人、車椅子利用者 1人、その他の方 61人）

6階 145人（視覚障害者 29人、車椅子利用者 2人、その他の方 114人）

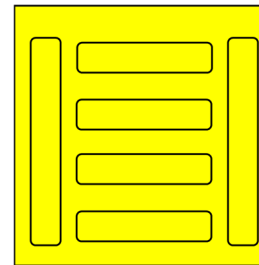
※その他の方…点字ブロックの上を通常の状態ですいた方、
アイマスクをして白杖を使って歩いた方、
車椅子に乗って点字ブロックの上を歩いた方（車椅子利用者を除く）



体験会の様子（6階）



体験会の様子（6階）



■体験会の感想

(体験者全員)

Q. どのパターンの点字ブロックが一番良かったですか？

	視覚障害者	(内 全盲の方)	車椅子利用者	その他の方
パターン①	9	5	1	22
パターン②	2.5	2	1	37
パターン③	5	4	0	15.5
パターン④	9.5	8	0	28.5
(空白)	3	2	0	11
総計	29	21	2	114

※2つのパターンを回答した場合は0.5ずつとする

(視覚障害者)

Q. 踏切内と外で点字ブロックの突起の状や配列の違いを感じとれましたか？

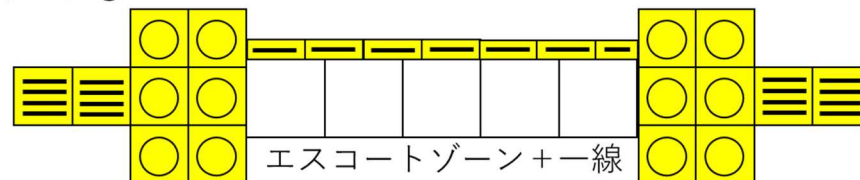
	問題なく感じ取れた	すぐには分からなかったが、慣れると違いが感じ取れた	違いを感じ取れなかった	(空白)
パターン①	18	8	0	3
パターン②	18	8	0	3
パターン③	18	4	3	4
パターン④	22	4	0	3

■体験会を踏まえての奈良市の考え方

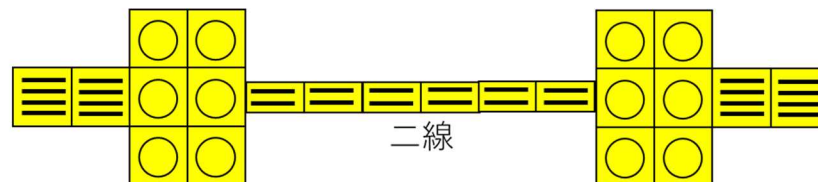
- ・視覚障害者からは、踏切内に点字ブロックを設置する際は、事前に教えてもらいたいという意見が多かった。
- ・施工する際（ガイドラインで決まった際）は、こういった体験会を再度開催し、周知する必要があると考える。

踏切内の点字ブロックのパターン図

パターン①



パターン②



パターン③



パターン④

